

IGS 広島大学

総合科学部国際共創学科

Department of Integrated Global Studies

(2018年4月設置)



広島大学

国際共創学科は、平成29年8月に設置計画が認められました

境界を超える。 世界を翔ける。



IGS は、こんな学生を求めています！

- 1** 異なる国や文化、宗教を尊重し、学問分野の枠を超えて課題を理解し、世界平和に貢献したいと考えている人
- 2** 自然科学に関心があり、人と環境の調和を希求する人
- 3** 母語以外の言語の習得に意欲的であり、卒業後、国際社会で活躍できる人

IGS への入学

入学定員：40人

入学時期：4月入学

入学者選抜方法：詳しくは巻末を参照してください。

1. AO入試：総合評価方式I型（国内選抜型、海外選抜型）、対象別評価方式（帰国生入試）
いずれも自己推薦書（英語で記述）、英語による面接等（大学入試センター試験を課さない）
2. 一般入試（前期日程）：大学入試センター試験及び個別学力検査
3. 私費外国人留学生入試（前期日程）：「日本留学試験」、「TOEFL® 又は TOEIC®」及び個別学力検査

IGS 国際共創学科

世界中から集った学生と一緒に学びます。大きく変動しつつある世界の現実に対応できるように、文化間コミュニケーション能力、互いの相違を認め合う寛容性、国際舞台で求められる多角的視野と思考力、そして協調性を身につけていきます。

国際社会の抱える諸課題を理解し、新しい方向性を考えるためには、環境、災害や資源などに関する自然科学の知識を修得するとともに、文化や宗教、社会的仕組みなどに関わる人文社会科学の視点を理解することも欠かせません。IGS では、次の3つのテーマを選びました。人間をささえる文化と異文化に出会う機会となる観光、社会の基盤に不可欠な平和とそれを構築するためのコミュニケーション能力、驚くほどの多様性を持つ環境とそれと相互的に影響し合う社会、という3つのテーマです。IGS の学生は、「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点から学びます。

世界中から集まった学生が分かり合うために、共通の言葉が必要です。そこでIGS の授業はすべて英語で行います。英語は世界と交流するための共通言語です。英語能力は、異文化を理解するため、他者とコミュニケーションするための第一歩です。もちろん、その他の言語も身に付けます。また、自然科学の分野では、英語の文献を読んで理解すること、海外の研究者、技術者と英語で討論できることは、もはや必須の能力です。

「英語を学ぶ」だけでは、その能力は伸びません。IGS では、「英語で学ぶ」、「英語で話し合う」ことを通じて、コミュニケーションの道具としての英語教育を重視します。

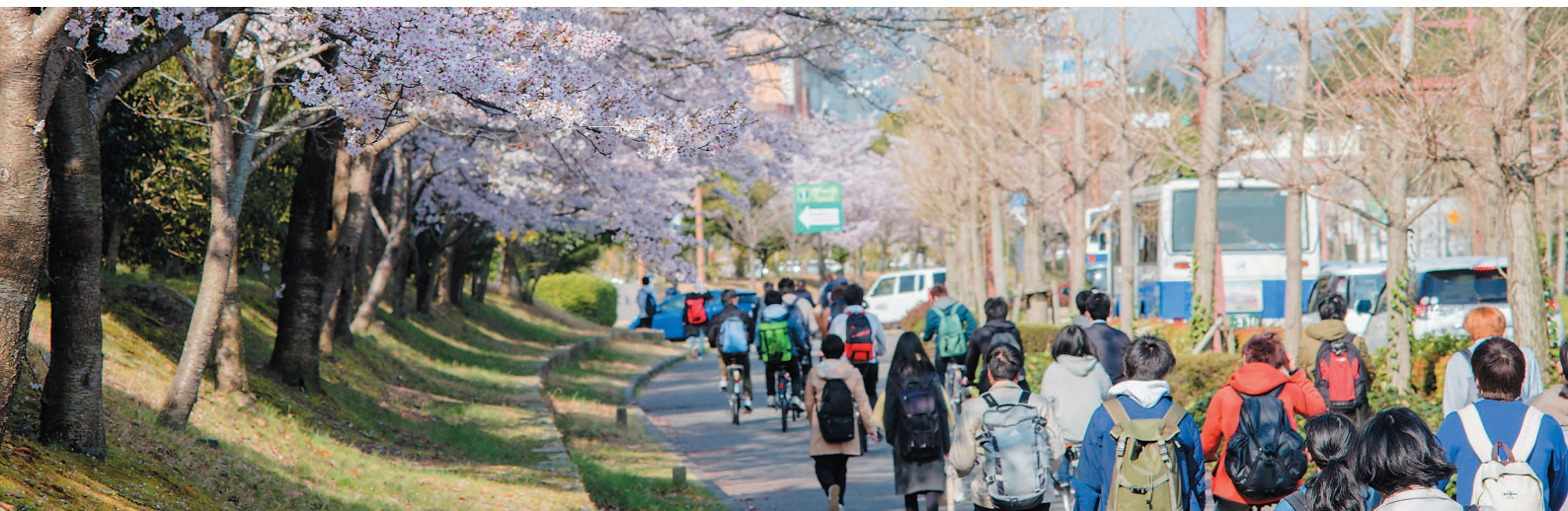


「当たり前とと思っていたことは、なにひとつ当たり前ではない。」
以前ドイツから留学してきた私に、日本がそう教えてくれました。
自分の考えを問い直すところから、世界の新たな発見が始まります。
世界に興味津々の皆さん、新たな考えを探求する力、他人と繋がる力、
総合的に考える力、共に世界を創造し、動き出す力をIGSで一緒に
育てましょう。

IGS 学科長（就任予定）フंक・カロリン

IGS 5つのポイント

- 1 入学から卒業まで、授業を英語で行います。
- 2 文理融合を目指して、グローバルな問題の解決に挑みます。
- 3 ことばのパワーを身につけます。
- 4 様々な国籍の学生が共に学びます。
- 5 専門性と実務に取り組む積極性を身につけます。





IGS 教育カリキュラム

総合科学部国際共創学科では、国際社会の抱える様々な問題や課題の解明と解決を目指し、人文科学・社会科学・自然科学からの多様なアプローチを学ぶ文理融合型のリベラルアーツ教育を行います。

学問分野の枠を超えて地球的な視点から物事をとらえる能力を涵養するとともに、コミュニケーション能力やディベート能力を高めることで、様々な国や地域の他者と協調的に活動することのできる人材を育成します。

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
大学入門 言語教育 教養教育	学部共通科目 IGS コア科目 IGS 科目 ・文化と観光 ・平和とコミュニケーション ・環境と社会	自由選択科目	特別研究 社会連携 セミナー
(短期留学)	半年間の留学	問題解決演習 グローバル インターンシップ	

(1) 語学教育

- ・全ての科目を英語で受講できます。
- ・日本語が母語の学生は、2年次に海外留学が必修です。
- ・日本語が母語ではない学生は、徹底して日本語を学習します。
- ・第三言語、第四言語の学習を奨励します。

(2) 独自の履修計画：チューターと相談のうえ、学生は自分にあった履修計画を立て、それに従って、授業を履修します。

(3) グローバルな問題解決の基礎となる知識や方法論を身につけるため、多くの学問領域からの授業を履修します。理系科目中心の履修も可能です。

(4) 日本語と英語のディベートとプレゼンテーションのスキルを向上させるための授業を履修します。

(5) 専門科目では、文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会という3つの視点を中心に学びます。

(6) 3年次にグローバル・インターンシップ（海外企業、多国籍企業等）を体験します。

(7) 3年次では問題解決演習でグループワークを学び、最終学年では特別研究で独自の研究成果の集大成として卒業論文を作成します。

IGS 留学

IGS の日本人学生は、2年生後期に半年間留学をすることになっています。広島大学の海外協定校への留学では、留学中の授業料は広島大学に納め、留学先大学への支払いは不要です。また、留学先で取得した単位は、卒業に必要な単位の一部として認定されますので、留学に行っても4年間で卒業できます。留学先で言語能力を高め、専門についても勉強します。海外留学未経験の人は、まず1年生向けの短期留学プログラム「START プログラム」に参加し、日本とは異なる文化・環境を体験することをおすすめします。

文化と観光という視点

グローバル化は地域の文化を絶やすのでしょうか？ 移住と移動が増えると、人の居場所はどのように変化するのでしょうか？ 観光は文化間理解に貢献し、地域の自然と文化を守る手段として評価されています。しかし、同時に環境破壊につながり、宗教や祭りなどを単なる見世物にしてしまう危険性はないのでしょうか？ このような課題を考えるためにグローバル社会における人と文化の関係、観光と地域の関係、思想と文化の関係、日本文化と世界との関係について論じる能力を養成します。



履修例 1 観光を生かして文化と地域の発展に貢献したい

教養で外国語や文化と地理に関する知識を身につけます。「観光論」で複数の学問から観光の基礎を学び、「日本の観光」と「国際観光論」で観光の効果と課題を見つけます。「現代日本文化論」や人類学科目でグローバル化と文化の関係を考えます。現地調査と卒業論文で、地域に貢献する観光の仕組みを検討します。

平和とコミュニケーションという視点

世界中の人がグローバル化の恩恵を平等に享受しているのでしょうか。グローバル化に伴い、世界観や価値観の相違が顕著になり、経済的利得や政治的優位性をめぐる集団間での対立が増えているのではないのでしょうか？ しかし、世界平和を構築するため、私たちは人間の英知を傾け、心を伝え合う良好なコミュニケーションを土台に克服していかなければなりません。IGSでは、グローバルな視点から様々な対立の背景や原因を探り、他文化・他言語との相違を認識する平和共生の社会実現に向けた学問的方法を学びます。

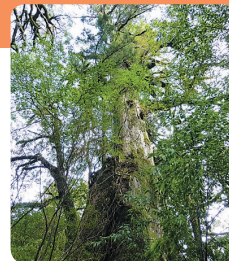


履修例 2 紛争の原因や他文化・他言語の適切な認識の仕方について学びたい

「平和と紛争研究」や「戦争と平和の応用倫理学」などでアジア、中東、アフリカで継続する現代武力紛争の特色について考えつつ、「文化心理学」や「言語と思考」などで、他文化・他言語間でのものの見方や捉え方の相違を認識し尊重する態度を学ぶことができますようになります。

環境と社会という視点

環境問題の解決に貢献したいと思いませんか？ 枯渇する資源やエネルギーの有効利用に興味はありませんか？ これらの問題と対峙するためには、自然科学の知識とともに、社会学や経済学、自然災害や環境リスクなど人間社会と環境のつながりの理解も必要です。環境問題や資源・エネルギー問題と関連の深い理系文系の知識を涵養し、問題解決のための仕組みを模索します。



履修例 3 自然や生物多様性を守りたい

「自然誌と自然科学」で自然の仕組みをしっかりと学ぶとともに、「多様性生態学」や「生物多様性保護」で生物多様性の現状や保護の必要性、保護の方策を学びます。さらに「自然災害と社会」や「環境経済と政策」で学ぶ人間社会と環境の関係を活用し、自然や生物多様性を保護する社会的な仕組みづくりを考えます。

IGS 教員紹介

フंक カロリン

Carolin Funck



職名 教授

研究分野 観光地理学

研究のテーマ 観光地の発展とその持続可能性について研究しています。例えば、近年日本では外国人旅行者が増えています。そのことが観光地にどのような効果と課題を引き起こすのかについて調べています。また、「外」から観光開発されるのではなく、地域が主体となった「内」からの地域の資源と文化を活かした観光の発展が可能かどうかを検討しています。

メッセージ 私自身は以前、留学生として日本に来ました。そこで文化間交流の面白さと言葉の重要性を実感しました。私が研究対象としている観光でも、人と文化の出会いから楽しみが生まれます。IGS が出会いの場、そしてそこから始まる新しい発見の場になることを期待しています。

片柳 真理

Mari Katayanagi



職名 教授

研究分野 平和構築

研究のテーマ 武力紛争は人、物、社会を傷つけます。どのようにその傷を乗り越え、平和な社会を作ることができるかを様々な側面から研究中です。「人権に基づく平和構築」、「ビジネスを通じた平和構築」、「紛争により失われた教育機会の回復」、「セキュリティ・ガバナンス」、「マイグレーション」が現在取り組んでいるテーマです。

メッセージ グローバリゼーションの時代、様々な課題は国境を越えて共有されます。平和もその一つ。それは所与のものではなく、常に平和を保つ努力が求められます。広島で平和構築や異文化コミュニケーションを学び、より平和な世界を目指すネットワークづくりに参加してみませんか？

金子 慎治

Shinji Kaneko



職名 教授

研究分野 環境経済学、開発政策学

研究のテーマ 主に途上国を対象とし経済発展と資源やエネルギーを含む自然環境との関係を公共政策の視点から広く研究しています。フィールドワークに基づく実証研究が主なアプローチです。

メッセージ 遊びも勉強も仕事もバランスよく一杯取り組み、元気で好奇心あふ盛んなが好きです。

高谷 紀夫

Michio Takatani



職名 教授

研究分野 文化人類学

研究のテーマ 東南アジアとその周辺地域の民族間関係に関する人類学的研究をしています。民族間関係は、民族認識と言説を介して構築される民族知のテキストとコンテキストに、過去も現在も影響されています。従って、民族間関係は、民族対立と平和構築対話のための研究の重要なテーマのひとつなのです。

メッセージ 1983年以来、ミャンマー他で、人類学的フィールドワークを続けています。フィールドワークにとって必要不可欠なのは、インターカルチュラル・コミュニケーション能力による現地の人々との信頼関係の構築です。私の研究成果は彼らの支援なくして達成されず、その返礼に、ヤンゴン大学客員教授も併任しています。IGS の学生には、豊かなインターカルチュラル・コミュニケーションの直接的経験を強く期待します。

達川 奎三

Keiso Tatsukawa



職名 教授

研究分野 英語教育学（英語教授法、教材開発論）

研究のテーマ どのようにすれば外国語である英語をより効率的にまた楽しく習得できるかを日々考えています。具体的には英語4技能（とりわけリスニング）の指導や評価のあり方、コミュニケーションの維持や挫折の修復・回避をするための方略、などが中心です。英語学習者や現場教員の支援に繋がる研究をしたいと考えています。

メッセージ 外国語をマスターするには2つの絶対量が必要です。一つは「学習の絶対量」を確保し、正確さ（accuracy）を高めます。もう一つは「実践的コミュニケーションの機会」を確保して、流暢さ（fluency）を磨きます。言語習得には努力と積極性が不可欠です。

山田 俊弘

Toshihiro Yamada



職名 教授

研究分野 Conservation biology, Forest ecology

研究のテーマ 生物多様性に関する研究を行っています。私たちはとても多様な生物種を見ることが出来ます。生物多様性といわれるものですが、私はなぜ、そしてどうやってこんなに生物種が多様になったのか調べています。また一方で、人為的な影響により生物多様性が急速に減少しつつあり、生物多様性を保護する国際的な取り組みづくりに貢献したいと思っています。

メッセージ 生物多様性を守るためには、どのような知識が必要でしょうか。もちろん、生態学のような自然科学の知識が必要でしょう。しかし、それだけでは不十分です。生物多様性保全の制度化のためには、倫理学、経済学、社会学や法学等の多様な知識が必要です。環境や社会に関する、文系・理系を問わず、多くの学問分野が学べるIGSは、生物多様性を学び、その保護を実践したい人にとっても適しています。

ヴィレヌーヴ 真澄美

Masumi Villeneuve



職名 准教授

研究分野 コロナおよび界面科学

研究のテーマ 雲の生成、細胞膜を通しての物質輸送、ヤモリの壁伝い、土壌コロイドの性質など、自然界の様々な現象に界面が関与しています。「界面」とは隣接する二相の間にしか存在し得ず、厚みが分子数個分の極めて薄い領域であるにも関わらず、この自然界を支配する要素の一つです。私は目で見ることはできないこの神秘的な領域を、熱力学を使って研究しています。

メッセージ 環境という複雑系における種々の問題を理解し解決するためには、どんな困難にも対応できる基礎学力をしっかりと身につけることが大切です。私は土台となる専門性をしっかりと持ちながら、周辺分野との関わりを理解し、背景の異なる人々と共に働ける科学者・技術者を育成したいと考えています。

河本 尚枝

Naoe Kawamoto



職名 准教授

研究分野 社会福祉、留学生教育

研究のテーマ 日本に暮らす外国籍および外国人にルーツを持つ日本人の福祉、特に子どもと高齢者を対象に研究しています。現在、広島県在住の中国帰国者の介護福祉について調査研究を行っています。また、高等教育機関で学ぶ留学生のアカデミックスキル習得についても研究しています。

メッセージ ささまざまな国や文化を持つ皆さんの授業を担当できることをとてもうれしく思います。IGS で毎日お互いの「違い」を発見すると思えます。「違い」の理由を考えることは「相互理解」への第一歩です。「違い」を見つけて、その理由をIGS の仲間と話し合うことを楽しんでください！

柴田 美紀

Miki Shibata



職名 准教授

研究分野 第二言語習得

研究のテーマ 英語は思うように上手にならないと感じたことはありませんか。母語である日本語は身につけようとして一生懸命勉強したわけではないのに、不自由なく使えるようになってしまった。では、なぜ英語の上達はゆっくりで、努力をした分だけ上手にならなかったと実感しないのでしょうか。この謎解きが私の研究テーマです。

メッセージ 学問とは「なぜ」を追及することであり、正解を見つけることではありません。これまでの研究で解明されたことを手ごかりに、謎を検証し、思考し、自分なりの答えを出す—これが学問の真髄です。学問は自由で最高の遊びです。国際共創学科で思いっきり「なぜ」を追及してください。

関 恒樹

Koki Seki



職名 准教授

研究分野 文化人類学、東南アジア地域研究

研究のテーマ グローバリゼーションと開発の諸側面を、文化人類学とフィリピン地域研究の視点から研究しています。社会政策や福祉国家といった近代の制度を、人びとの具体的な生のあり方とその変容に注目しつつ考えようとしています。具体的なテーマとしては、都市貧困、スラムの土地・住宅政策、資源管理、移住・移民などです。

メッセージ コミュニティでのフィールドワークというミクロな視点と、グローバル化によって引き起こされる諸問題の解明といったマクロな視点の両方を持った学生を歓迎します！

田中 晋平

Shinpei Tanaka



職名 准教授

研究分野 複雑系の物理学

研究のテーマ 私は、要素間の複雑な関係性によって複雑な現象を引き起こすシステムの研究をしています。要素自身は単純なものであっても、それが多数、互いに関係あっていること、全体としての振る舞いは複雑になります。さらに、システム全体の性質が逆に要素の振る舞いを規定することもあり、要素と全体は常に関連し合っています。このような現象を、できるだけ単純な要素を用いた実験・シミュレーションによって研究しています。

メッセージ 物理学の対象に制限はありません。物質から生命、自然環境、社会やインターネットまで、要素と全体が複雑に絡み合った現象をできるだけ一般化して理解する試みが物理学です。幅広い興味と鋭い観察力・洞察力をもった学生の方と一緒に研究することを楽しみにしています。

タファナー ロバート H.

Robert H. Taferner



職名 准教授

研究分野 応用言語学、第二言語習得、語用論

研究のテーマ 私は、言語学習者の言語処理を助けるタスクを用いて、言語学習者の形態統語的段階について研究しています。更に、国際的な教育環境やビジネス環境での共通語としての英語の研究もしています。また、短期集中型の第二言語習得プログラム受講者の思考・期待・価値観についての調査も行っています。

メッセージ 私は武道と日本文化を学ぶために日本に来ました。日本語学習を通して、新しい言語を学び、習得する難しさを感じました。この経験を活かし、IGS の一員として、みなさんの明るい未来のお手伝いをしたいと思っています。

トレンソン スティーブン

Steven Trenson



職名 准教授

研究分野 日本宗教学

研究のテーマ 前近代日本の仏教（主に密教）の歴史及び仏教と神道の交渉史を研究しています。また、幅広い日本宗教文化の諸側面にみえる思想の特徴とその歴史的展開についても考察しています。それ以外では、武芸や神楽などの諸芸術と神仏習合思想との関係にも興味を持っています。

メッセージ 数年前に日本に来て以来、日本の文化について様々な特徴を学ぶことができました。その経験のおかげで、日本をよりよく理解できるようになったばかりでなく、自分の文化を異なる視点から見ることができるようになりました。IGS コースを受講する学生も同じく日本文化から学び、より豊かな人生を送ることができるようになるよう願っています。

町田 章

Akira Machida



職名 准教授

研究分野 認知言語学

研究のテーマ 僕は、人間のこぼとこころの関係について研究しています。特に、人間の一般的な認知能力がどのように言語能力を生み出し、毎日ある言語を使って生活することがどのように人のこころに影響を与えるのかについて研究しています。日本語的なものの見方と英語的なものの見方の違いも研究テーマです。

メッセージ 世界にはおよそ7,000もの言語があるとされています。仮にこぼとこころの見方や考え方が密接に関わりを持っているとするならば、7,000もの異なるものの見方や考え方が存在することになります。こぼとこころの研究を通して人間の心の中を覗いてみませんか。

山根 達郎

Tatsuo Yamane



職名 准教授

研究分野 国際関係論

研究のテーマ 私の研究関心は、現代の武力紛争がいかんにかして生じているのか、そして、これらの紛争に対し、国際社会がどのようにして紛争解決や平和構築のための取り組みを提供しているのか、という問いに関心しています。紛争の一要因としての「失敗国家」とどのような特徴をもっているのでしょうか？リベラルな性格を有した平和構築の意義と課題とは何でしょうか？このような平和と紛争まつわる難題について、私は国際関係論の立場から考察を進めています。

メッセージ 母語でも外国語でも、深い思考と伴ったたくさんの専門を、あなた自身の言葉で語れるように、IGS に入学するといい選択をしてみませんか。

IGS 就職・進路

就職先としては国内外の企業（理系の場合各種製造業、文系の場合観光産業、マスコミ、コンサルティング会社やシンクタンクなど）、国内・国際公的機関や行政機関、NGO や国際 NPO が想定されます。

大学院への進路として、総合科学研究科、国際協力研究科など広島大学の大学院の他に、国内、海外の大学院が考えられます。

IGS 学生生活

安心して学び、友と語る環境

オリエンテーション行事など様々な出会いの場があります。友人をたくさん作るチャンスです。学習や生活のサポートも充実しています。その他にも、ゆかたまつりや大学祭などの学内行事がありますので、積極的に参加して様々な人とふれあい、大学生活を楽しみましょう。

学生プラザ

学生の利便性を考慮し、主な学生支援窓口を一カ所にまとめた施設です。また、学生用フリースペースを設け、留学生を含めた学生全体の交流の場としても活用されています。



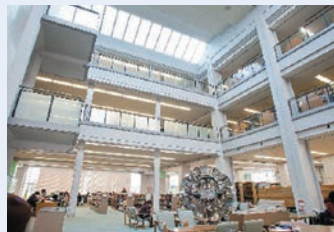
健康サポート

東広島キャンパスには、保健管理センターがあり、毎年4月に学生の健康診断を行っています。また、医師が常駐していますので、診療や健康相談も行っています。さらにカウンセリングやメンタルヘルス相談も行っています。



図書館

各キャンパスに図書館が設置されていますが、東広島キャンパスには、中央図書館、東図書館、西図書館という3つの図書館が設置されており、総合科学部の隣には西図書館があります。西図書館には教養科目の参考図書や雑誌など約61万冊の蔵書があります。中央図書館には論文の書き方などを相談できるライティングセンターも備えています。



学習支援

広島大学では、学生一人ひとりを担当する教員（チューター）を学科ごとに複数配置し、入学時から卒業まで学習の悩みや学内施設の利用など大学生活全般に関するサポートを行います。



学生食堂等

東広島キャンパスには、5つの学生食堂と売店があり、コンビニエンスストアも1軒あります。また、軽食やドリンクを楽しめるカフェや喫茶スペースもあり、コースランチメニューのあるレストランも設置しています。



学生寮

東広島キャンパスに隣接する「池の上学生宿舎」は、通学に便利な場所にあります。プライバシーに配慮し、全室が個室ですが、共用施設などで国内外の学生と助け合いながら共同生活を営むことを通して、集団生活・国際交流の場としての性格も併せ持つ学生宿舎です。



キャンパス年間行事

- 4月 春季休業 (4/1~4/7)、入学式、前期 (第1ターム) 授業開始
オリエンテーション行事
- 6月 第2ターム授業開始、フェニックスコンサート
- 7月 ゆかた祭り、学期末試験
- 8月 夏季休業 (8/11~9/30)
オープンキャンパス
- 9月 中国五大学学生競技大会 (夏季大会)
- 10月 後期 (第3ターム) 授業開始
フェニックスリレーマラソン
- 11月 創立記念日 (11月5日)
大学祭、ホームカミングデイ
中国五大学学生競技大会 (冬季大会)
AO入試
- 12月 第4ターム授業開始
冬季休業 (12/26~1/5)
- 1月 大学入試センター試験
- 2月 学期末試験
学年末休業 (2/16~3/31)
一般入試 (前期日程)
- 3月 学位記授与式 (卒業式)
一般入試 (後期日程)



IGS 平成30年度の入試情報

1. AO入試の募集人員・選抜方式等

※国際共創学科の設置計画が認められた時期が平成29年8月であったため、海外選抜型（第1次募集）は実施できませんでした。そのため第2次募集の募集人員を若干名から10名に変更して実施します。

AO入試の種類	総合評価方式I型			対象別評価方式
	海外選抜型 (1次募集)	海外選抜型 (2次募集)	国内選抜型	帰国生入試
募集人員	10名	若干名	10名	若干名
出願期間	8月1日(火)~21日(月)	10月10日(火)~24日(火)	10月5日(木)~11日(水)	10月5日(木)~11日(水)
第1次選考合格者発表日	9月7日(木)	11月9日(木)	11月1日(水)	11月1日(水)
最終選考日	9月25日(月)~28日(木) のいずれかの日	11月22日(水)~27日(月) のいずれかの日	11月25日(土)	11月25日(土)
最終合格者発表日	10月6日(金)	12月1日(金)	12月1日(金)	12月1日(金)

・「国内選抜型」、「海外選抜型」、「帰国生入試」の三つの方法で行います。

・「国内選抜型」は、日本国内で受験する方が対象です。「海外選抜型」は、海外の居住国で受験する方が対象です。いずれも国籍は問いません。

・学生募集要項は、後日、国際共創学科のホームページ (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/igs>) 上で発表予定です。出願を検討される場合には必ず確認してください。

(1) 選考方法

①第1次選考(書類選考)

提出された出願書類(成績証明書又は調査書、自己推薦書(英語で記述)及び出願要件確認書類)を総合評価し、可否を判定します。

②最終選考

英語による面接

※「国内選抜型」及び「帰国生入試」では、本学総合科学部試験場で英語による面接を行い、「海外選抜型」では、志願者の渡日を不要とし、インターネット等を利用した英語による面接を行います。

④ IELTS™ (Academic Module)	4.0以上
⑤ TEAP	226以上
⑥ TOEFL iBT®	42以上
⑦ TOEFL Junior® Comprehensive	322以上
⑧ TOEIC® L&R及びTOEIC® S&W	790以上(L&R550以上及びS&W240以上)

ただし、出願時までの概ね3年間の学校教育等を、英語を第一言語として教育を受けた志願者は、当該教育機関の教育言語が英語であったことを証明する書類を提出することで、出願要件を満たすものとします。

(2) 英語外部検定試験の利用(「国内選抜型」、「海外選抜型」、「帰国生入試」共通)

以下のいずれかの英語外部検定試験の評価を有していることを出願要件とする。

① Cambridge English	PET (140以上)
② 英検(実用英語技能検定)	2級以上
③ GTEC CBT	1000以上

(3) 統一試験成績等の活用(「国内選抜型」、「海外選抜型」、「帰国生入試」共通)

国際的に通用する大学入学資格や統一試験(国際バカロレア、SAT等)の成績を、出願書類の評価に反映させます。

2. 一般入試の募集人員・実施教科・科目等

(1) 募集人員 前期日程のみ 20名

(2) 実施教科・科目及び配点等

	大学入試センター試験の利用教科・科目				個別学力検査		
	教科	科目	配点	教科	科目	配点	
文科系受験	国	国	を1	国	国語総合(近代以降の文章)、現代文B	400	
	地歴・公民	世B、日B、地理B、倫・政経	から2				
	数	数Ⅰ・数A	を1				
		数Ⅱ・数B、簿、情報	から1	外	英語	800	
	理	物基、化基、生基、地学基	から2				
	外	物、化、生、地学	から2				
	英、独、仏、中、韓	から1	300	合計	1200		
	5又は6教科8科目	合計	900				
理科系受験	大学入試センター試験の利用教科・科目				個別学力検査		
	教科	科目	配点	教科	科目	配点	
	国	国	を1	理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	から2	400
	地歴・公民	世B、日B、地理B、倫・政経	から1				
	数	数Ⅰ・数A	を1				
		数Ⅱ・数B、簿、情報	から1	外	英語	800	
	理	物、化、生、地学	から2				
外	英、独、仏、中、韓	から1					
	5教科7科目	合計	900	合計	1200		

※文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験してください。この区分は、受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分とは異なります。

※文科系で受験した者と理科系で受験した者から募集人員の約半数ずつを合格者とします。



広島大学 総合科学部国際共創学科

<お問い合わせ先>

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

電話：082-424-7988

E-mail: igs@hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/igs/>

